

市教育委員会表彰

11月25日、伊万里市教育委員会表彰式が市役所でありました。

これは、文化の日にちなみ、教育や学術、文化、スポーツなどの向上に大きく貢献した個人や団体、機関を表彰するもので、毎年行われています。

今回の受賞者は、次のとおりです。

【学校教育】

▼笹山 清彦さん

▼門司 幸男さん

▼田中 紘一郎さん

【青少年育成】

▼井手 みどりさん

【文化・芸術】

▼古川 圓さん

【学習活動】

▼辻川 耀さん

【スポーツ】

▼故岩政 祐人さん

▼通谷 律さん

▼通谷 結太さん

▼牧瀬 翼さん

▼久富 一寛さん

▼吉原 勘九朗さん

▼小幡 真弘さん

▼笹川 大心さん

▼宮崎 葵さん

▼伊万里市成年女子
ホッケークラブ

▼前山 翔祐さん

▼大川内 健太さん

▼村上 勝也さん

▼百武 強士さん

▼津上 和也さん

▼森山 大樹さん

▼北島 心愛さん

▼宮地 節生さん

▼梅崎 かおりさん

▼大川内 和也さん



↑受賞した皆さん（前列）と関係者

パブリックコメント
（市民意見提出手続制度）

より多くの市民の意見を参考にするため、パブリックコメントを実施します。皆さんの意見を寄せてください。

(1) 『第3次伊万里市環境基本計画』（案）

●問合先 環境政策課 脱炭素社会推進室（☎23・2144）

市は、伊万里市環境基本条例に基づき、環境に関する各種施策を総合的かつ計画的に推進するため『伊万里市環境基本計画』を策定しています。本計画の第3次計画への改定に併せて、世界的

(2) 『第3期伊万里市子ども・子育て支援事業計画』（案）

●問合先 子育て支援課 保育係（☎23・2174）

市は、令和2年度から6年度までを第2期とする『伊万里市子ども・子育て支援事業計画』を策定し、生まれる前から乳幼児期を経て青少年期に至るまでの、子どもとその家庭を対象とし、本市の未来を担う子どもの育成支援に係る施策を推進しています。

パブリックコメント案内

◆意見提出をお願いする資料

- (1)『第3次伊万里市環境基本計画』（案）
(2)『第3期伊万里市子ども・子育て支援事業計画』（案）

◆意見募集期間

- (1)1月6日（月）～29日（水）必着
(2)1月27日（月）～2月20日（木）必着

◆案の公表場所・入手先

- ①各問合先、市民情報コーナー、各コミュニティセンター、市民図書館
②市ホームページ <https://www.city.imari.lg.jp>

◆意見の提出方法 意見は住所・氏名（または団体名）を明記のうえ、次のいずれかの方法で提出してください。

- ①メール (1) kankyou@city.imari.lg.jp
(2) kosodate@city.imari.lg.jp
②郵便 〒848-8501 伊万里市立花町 1355 番地 1 伊万里市役所 ※宛名は各問合先です。
③直接提出 『案の公表場所・入手先』の①のいずれかに持参してください。
④ファックス (1) 23-2121 (2) 22-7650

伊万里市職員給与の現状

市職員の給与は、地方公務員法に基づき、国家公務員やほかの地方公共団体の職員給与との均衡などを考慮して条例で定めています。市職員給与の現状と人事行政運営などの状況をお知らせします。

● 問合先 総務課職員係 (☎ 23-2127)

1. 人件費

(令和5年度普通会計決算額)

住民基本台帳人口 R 6.3.31現在	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B) / (A)	4年度の 人件費率
人 51,939	千円 33,236,164	千円 901,549	千円 3,989,151	% 12.0	% 12.0

※人件費には、特別職の職員（市長や市議会議員、各種委員など）、会計年度任用職員の給与（給料および手当）や報酬を含みます。

※普通会計とは、地方財政の統計上、統一的に用いられる会計区分です。

2. 職員給与費

(令和5年度普通会計決算額)

職員数 (A)	職員給与費				1人当たり 平均給与額 (B) / (A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
人 406	千円 1,518,206	千円 292,944	千円 594,257	千円 2,405,407	千円 5,925

※職員数は、一般職の職員（特別職・会計年度任用職員以外）の人数です。

※職員手当は、退職手当を除いた額です。

3. 職員の平均給料月額と平均年齢

(令和6年4月1日現在)

区 分	伊万里市 (平均)		国 (平均)	
	給料月額	年齢	給料月額	年齢
一般行政職	円 378,245	歳 41.8	円 405,378	歳 42.1
技能労務職	円 394,439	歳 53.3	円 330,553	歳 51.2

※一般行政職とは、一般職のうち、税務職や福祉職、保健職、教育職、企業職を除く職員です。

※国の数値は、『国家公務員給与等実態調査』（人事院）によるものです。

4. 職員の初任給（給料）

(令和6年4月1日)

区 分	伊万里市	国
一般行政職	大学卒 円 196,900	円 196,200
	高校卒 円 166,700	円 166,600
技能労務職	高校卒 円 162,100	円 164,000

5. 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額

(令和6年4月1日現在)

区 分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒 円 251,000	円 285,000	円 356,975
	高校卒 円 221,700	円 268,300	円 324,700
技能労務職	高校卒 円 242,600	円 267,300	円 282,300

6. 職員手当

① 期末・勤勉手当

(令和6年4月1日現在)

区 分	期末手当	勤勉手当
市	6月期 月分 1.225	月分 1.025
	12月期 月分 1.225	月分 1.025
	合 計 2.450	2.050
国	6月期 月分 1.225	月分 1.025
	12月期 月分 1.225	月分 1.025
	合 計 2.450	2.050

② 退職手当

(令和6年4月1日現在)

区 分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額	定年前 早期退職 特別措置	1人あたり 平均支給額 (令和5年度)
自己 都合	月分 19.6695	月分 28.0395	月分 39.7575	月分 47.709	% 2 ~ 20	千円 —
					% 2 ~ 45	—
勤奨・ 定年	24.586875	33.27075	47.709	47.709	% 2 ~ 20	20,766
					% 2 ~ 45	—

※職制上の段階や職務の級などによる加算措置があります。

③ 時間外勤務手当

区 分	支給総額	職員1人当たりの 平均支給月額
令和4年度	円 162,685,792	円 32,511
令和5年度	円 163,404,759	円 33,540

7. 特別職の報酬

(令和6年4月1日現在)

区 分	給 料	報 酬	期末手当		
			6月期	12月期	合 計
市 長	円 946,000	円	月分 1.7	月分 1.7	月分 3.4
副市長	円 755,000				
議 長	円	486,000			
副議長		435,000			
議 員		407,000			

人事行政運営などの状況

2. 職員の任免（異動、採用、退職など）

①異動者数（令和5年度）

区 分		男 性	女 性	合 計
部 長 級	昇 任	人 5	人 1	人 6
	その他	3	0	3
課 長 級	昇 任	5	0	5
	その他	10	1	11
副課長級	昇 任	7	4	11
	その他	9	3	12
係 長 級	昇 任	11	14	25
	その他	17	13	30
一般職級	昇 任	—	—	—
	その他	46	23	69
合 計	昇 任	28	19	47
	その他	85	40	125

3. 職員の時間外勤務、休暇など

①時間外勤務・休日勤務（令和5年度）

総時間数	職員1人当たりの 勤務平均時間数
時間 75,504	時間 178.0

③育児休業（令和5年度）

区 分	男 性	女 性	合 計
承認件数	件 7	件 8	件 15
期間延長の承認件数	0	0	0
期間短縮の承認件数	0	0	0

4. 職員の分限・懲戒処分

①分限処分（令和5年度）

区 分	降任	免職	休職	降給	合計
勤務成績が良くない場合	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0
心身の故障の場合	0	0	8	0	8
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0	0
職制、定数の改廃、予算の減少により廃職、過員を生じた場合	0	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0	0
合 計	0	0	8	0	8

②懲戒処分 該当なし（令和5年度）

6. 職員の福利厚生（令和5年度）

地方公務員法第42条の規定に基づき、職員の保健および福利厚生の増進を目的として、伊万里市職員共済会が設置されています。

▷市職員共済会に対する公費負担額 2,210,000 円

7. 職員の勤務条件に関する措置要求、不利益処分に関する審査請求などの利益の保護

（令和5年度）

①勤務条件に関する措置の要求

該当なし

②不利益処分に関する審査請求

該当なし

1. 職員の競争試験

（令和5年度）

区 分	申込者数	受験者数 (A)	最終合格 者数 (B)	競争率 (A) / (B)
一般事務	人 186	人 145	人 8	倍 18.13
社会福祉士	6	5	2	2.5
文化財担当職	1	1	0	—
土 木	11	5	1	5
保健師	7	4	0	—

※最終合格者 11 人は、令和6年4月1日付けで採用

②採用者数（令和5年度）

区 分	男 性	女 性	合 計
一般事務	人 5	人 3	人 8
社会福祉士	1	1	2
土 木	1	0	1
合 計	7	4	11

③退職者数（令和5年度）

区 分	男 性	女 性	合 計
定年退職	人 0	人 0	人 0
勤奨退職	4	0	4
普通退職	4	3	7
死亡退職	0	0	0
任期満了	1	0	1
合 計	9	3	12

②年次有給休暇の取得

（令和5年）

総付与日数 (A)	総取得日数 (B)	対象職員数 (C)	平均取得日数 (B) / (C)	取得率 (B) / (A)
日 15,363	日 4,610	人 418	日 11.02	% 30

5. 職員の研修および人事評価

①研修（令和5年度）

内 容		件数
階層別研修	新規採用職員、新任係長、新任課長、監督者など	人 99
実務研修	税務、公会計、財務、行政法、契約など	120
課題研修	人事評価制度基本研修、民間企業体験研修など	215
派遣研修	自治大学校、県派遣研修など	21
接遇研修	組織接遇力研修、新採職員接遇実践研修	66
同和問題研修	職員同和問題研修、同和問題地区別研修など	983
その他研修	市町村行政講演会、交通安全講習会など	676
合 計		2,180

②人事評価（令和5年度）

（回数）1 回 / （時期）1 月 / （対象者）492 人

8. 退職者の再就職

（令和5年度末退職者）

退職時の 役職	市再任用職員		公益法人など		民間企業		合 計	
	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性
部 長 級	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0
課 長 級	1	0	0	0	0	0	1	0
副課長級	1	0	0	0	0	0	1	0
係 長 級	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職級	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	0	0	0	0	0	2	0

みんなでささえる国民健康保険 令和12年度から税率が県内で統一されます

● 問合先 市民課年金保険係（☎23・2153）

● 国民健康保険とは

国民健康保険とは、医療保険制度の一つであり、主に自営業や農業に従事している人、退職した人など、ほかの医療保険に加入していない75歳未満の人が加入しているものです。国民健康保険制度とは、病気やけがをしたとき安心して治療を受けられるように、国民がお金を出し合い、互いに助け合う大切な仕組みのことで、伊万里市民の約20割が加入しています。

● 国民健康保険税率の統一化

近年、医療費が増加し、また、高齢化が進展していることなどから、国民健康保険の財政は厳しい状況です。このようなことから佐賀県が、平成30年度の国民健康保険制度改革に伴い、財政運営の責任主体として国民健康保険の運営で中心的な役割を担うようになりました。佐賀県は、県内の市町が国民健康保険を運営するために必要な財源を確保するための基準として、

毎年、標準的な保険税率を算定し公表しています。国民健康保険税の税率は、令和11年度までは県が示す標準的な保険税率を参考に各市町で決定することができましたが、令和12年度からは県内で統一されます。

● 伊万里市の現状

市の国民健康保険税は、平成27年度から税率を据え置いしてきましたが、年々、医療費が増加しているため、国民健康保険の運営が難しくなりつつあります。市は、令和12年度から県内の保険税率が統一されることに向けて、緩やかな税率改定ができないか検討をしています。

● 私たちにできること

国民健康保険の制度を維持し、より効果的に運営するには皆さん一人一人の理解と協力が必要不可欠です。個人が健康を管理し、適切な医療を受けることが、制度全体の持続可能性を高め将来の負担を軽減することにつながります。健康維持を心がけ、医療費の抑制に努めましょう。

コンビニエンスストアで戸籍証明書が 取得できるようになりました

● 問合先 市民課窓口係（☎23・2143）

マイナンバーカードを利用して全国のコンビニエンスストアなどで戸籍謄本・戸籍抄本・戸籍の附票の写しも取得できるようになりました。

必要なもの

マイナンバーカード（利用者証明用電子証明書の暗証

番号（数字4桁）を登録したもの）

利用できる時間

午前6時30分～午後11時

※各店舗の利用時間内に限ります。

ます。

※システム休止日は利用できません。

利用できる店舗

全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートなど、店内に証明書が発行できるマルチコピー機が設置されている店舗

キオスク端末

11月から市役所市民課待合に証明書交付機（キオスク端末）を設置しています。開庁時間内は、マイナンバーカードを利用してコンビニと同様の各種証明書が取得できます。申請書を記入する必要がなく、窓口で順番を待たずに取得できますので利用してください。

コンビニ交付やキオスク端末について、詳しくは『地方公共団体情報システム機構』のホームページで確認してください。←



◆ 取得できる証明書

証明書の種類	手数料（1通）	対 象
住民票の写し	300 円	市に住民登録がある人で、本人のみが取得できます。または、同じ世帯の人も取得できます。
印鑑登録証明書		
所得証明書		
課税・所得証明書		
所得証明書（児童手当用）		
戸籍謄本	450 円	市に本籍がある人で、本人および同一戸籍の人が取得できます。また、市に住民登録がない人は、コンビニで利用登録が必要です。
戸籍抄本	450 円	
戸籍の附票	300 円	



↑ 市民課のキオスク端末



↑波多津コミュニティセンターの講堂は町民でいっぱいでした

市長座談会
11月20日から市長座談会『市長と話そう あしたの伊万里』が開催されています。
この座談会は『住んで働きたいと感じるまち』への飛躍を目指して進めるさまざまな施策に、市民の意見を幅広く反映させることで、市に更なる活気と変化を生み出すものと、開催されているものです。
初回の波多津町では、深浦弘信市長が、子育て支援策や国見台公園の総合整備などについて話しました。町民からは、公共交通機関の利便性などの質問が出るなど、これらの伊万里について意見交換が行われました。
市長座談会は、1月21日までに市内すべての町・地区で開催されます。

市長座談会



↑会場いっぱいに美しい歌声が響き渡ったフィナーレ

市民音楽祭
12月1日、市民センターで、市民音楽祭が開催され、市内21の団体、約270人が出演しました。
出場者は、合唱や吹奏楽、三味線、箏などの演奏を披露し、気持ちを込めた歌声や演奏を会場いっぱいに響かせました。
フィナーレでは、伊万里中学校吹奏楽部と伊万里吹奏楽団の伴奏で、出演者と観客全員が『伊万里讃歌第8章終詩』を合唱し、音楽祭は幕を閉じました。

市民音楽祭

伊万里グリーン・ツーリズム

子どもたちに伊万里の自然や文化を伝えています

農家民宿紹介 vol. 4

善ちゃんはうす (木須町)

グリーン・ツーリズムとは『緑豊かな農村地域において、自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動』のことです。

このコーナーでは、伊万里の農家民宿・体験を紹介します。

～食育を通じて地域の未来を築く

農家民宿を始めてみませんか～

食育に取り組む善齊洋子さん夫婦が営む『善ちゃんはうす』は、安心安全で高品質な農産物を育て一貫生産をしている株式会社フェルマ木須に隣接しています。

もち麦あわせみそ作りや手作り餃子、手作り豆腐といった滋味深い料理で『食』の楽しさを伝える洋子さんは『食卓を通じた心豊かな暮らし』を農家民宿で提供しています。

なによりも子どもたちの健やかな成長を食卓から支えることが喜びで、訪れた修学旅行生に家庭の大切さと食文化の魅力を伝えています。



☆農家民宿・体験受入れに新しく取り組む人を募集しています☆

皆さんも、善ちゃんはうすの洋子さんをはじめとする農家民宿の仲間になって、全国の子どもたちに伊万里の魅力を伝えてみませんか。

農家民宿などに新しく取り組んで、宿泊客を迎えてみたい人を募集しています。

また、興味を持っている人に具体的なイメージを持ってもらえるよう、農家民宿での宿泊体験を用意しています。まずは、気軽に相談してください。

●問合先

シティプロモーション推進課
グリーン・ツーリズム係
伊万里市観光協会 ☎ 20-9031

取り組みを紹介しています。→



調べる学習コンクール

11月16日『第9回伊万里市民図書館・学校図書館を使った調べる学習コンクール』の表彰式が市民図書館でありました。

このコンクールは、図書館の資料を使って『考える力』や『表現する力』を身につけ、体験や創作などと結びついた実践的な研究に取り組んでもらおうと開催されているものです。今回は、市内5つの小学校から46点の応募があり、審査の結果、次の3点が最優秀賞に選ばれました。

▽弦巻 凜さん（立花小1年）
『かみなりがこわい』

▽田口 蒼真さん（東山代小4年）
『未来につなぐ工芸品』

▽山本 小梅さん（二里小5年）
『果実酢を作ろう』



↑弦巻凜さんと山本小梅さんの作品は全国コンクールに推薦されました

南波多郷学館『佐賀県文学賞』入賞

11月27日、南波多郷学館5～9年生の児童・生徒17人が『佐賀県文学賞』に入賞し、その報告のため、松本定教育長を訪問しました。

郷学館は、コミュニティ・スクールの取り組みの一つとして『川柳』に取り組んでいます。川柳は、岩永孝雄さん、岩永憲一良さんから指導を受けていて、毎年、文学賞の川柳部門に出品しています。

今回は、入賞・入選した児童・生徒のうち、中学生の部で8年生の下平叶望さんが最高賞の一席を受賞しました。



↑第1席入賞の下平叶望さん（後列左から4人目）・岩永孝雄さん（後列左から2人目）などの入賞者と関係者

JR筑肥線・MR絵画コンクール表彰式

11月30日、JR筑肥線・MR松浦鉄道絵画コンクルールの表彰式が、伊万里駅前公園でありました。このコンクールは、駅の賑わいづくりや子どもたちに筑肥線と松浦鉄道に愛着を持つてもらおうと開催されていて、今回は180点の応募がありました。入賞者は、次のとおりです。

◆市長賞

▽小学生低学年の部

脇本知英さん（東山代小1年）

▽小学生中学年の部

西田康太郎さん（立花小4年）

▽小学生高学年の部

椎山悠聖さん（東山代小5年）

▽中学生の部

金子円香さん（山代中3年）

◆JR筑肥線賞

武重 栞奈さん（二里小4年）

◆MR賞

江口明徹さん（立花小2年）



↑表彰式に参加した受賞者の皆さん（前列）

地域おこし協力隊活動レポート（炭山地区）⑪

みなさん、こんにちは。地域おこし協力隊の小原正道です。

9月の『国際DAYキャンプinすみやま』に続き、第二弾として、11月9日に川内野の地域おこし協力隊と二里町の地域づくりサポーターと協力して、地域資源の活用と国際交流を組み合わせた『国際DAYキャンプin川内野』を開催しました。

DAYキャンプに参加した外国人22人の国籍は、アメリカ、イギリス、コロンビア、中国、インドネシア、ペトナム、フィリピンなどで、日本人は29人、ボランティアやスタッフは16人でした。

最初に椅子取りゲームを行ったところ、参加者の緊張も解け、その後の昼ご飯作りでは、和気あいあいと楽しみながら黒米いなりやみそ汁、焼き芋などを作りました。川内野の黒米や野菜を使った料理は「とても美味しい」と外国人からも好評でした。

参加者は、食後に会場近くに植栽されている1千本の色づき始めたコキアの周りを散策し、思い思いの場所で記念写真を撮影していました。

DAYキャンプ中は、参加者の歓声や笑い声が会場いっぱいに広がり、外国人にも日本人にも川内野の自然や食材を楽しんでもらうことができました。



黒米いなり作り



焼き芋包み

まきおっちゃん

すみやま棚田
どろんこ奮闘記



コキア畑散策



貝材の下ごしらえ

3市町広域連携企画！

有田町・伊万里市・武雄市の
イベントをお届け！

有田町

令和6年度 第56回 有田工業高校卒業制作展

日時／1月21日(火)～26日(日) 9:00～17:00
※26日は16:00まで会場／佐賀県立九州陶磁文化館
第一展示室および一般研修室内容／卒業学年の「課題研究」で取り組んだもの
を中心に、多種多様な分野に挑戦し、制作
した作品や研究が展示されます。

詳しくは

▲ホームページ
有田工業高校
☎0955-42-3136

伊万里市

波多津ふれあい広場のカキ小屋

期間／3月下旬まで

日時／土・日曜日 10:00～17:00
※1月4(土)、5日(日)は休業

場所／ふれあい広場(波多津町辻517-8)

内容／取れたてのカキをはじめとした海の幸や
カメシ、伊万里牛などが味わえます。
隔週日曜日(1/19、2/2・16、3/2・16)は軽
トラ市(野菜や海産物販売)も同時開催！

詳しくは

NPO 法人まちづくり波多津
☎0955-25-0555
(月～金曜日)
☎090-6428-0050
(土・日曜日)
※予約は受け付けていません。
※持ち込みはできません。

武雄市

九州オルレ 武雄コース スイーツオルレ

日時／2月16日(日) 9:00～16:00

会場／九州オルレ 武雄コース

内容／武雄のスイーツを堪能しながら、自然の豊
かさや歴史ある温泉・建物・文化と、新しく
変わりゆく町並みをめぐるトレッキング。
ぜひ、ご参加ください！

参加費／2,000円 ※事前申込制



詳しくは

▲ホームページ
武雄市役所観光課
☎0954-22-0101

11月27日、株式会社名村造船所(大阪市)が、市に1000万円を寄付したことを受け、謝意を表明するため感謝状を贈呈しました。

今回の寄付は、昨年、同社の伊万里事業所が竣工50周年の節目を迎えたことや、これまでの市の支援などに感謝の意を表したいとの思いから贈られたもので、寄付金は、今年7月に市内に設置される予定の『子ども屋内遊び場』の整備のために活用されます。



↑がつちりと握手を交わす名村建介社長(左)と深浦市長

株式会社名村造船所が子どもの屋内遊び場整備のために1000万円寄付

12月6日、伊万里有田地区消防設備等保守協会が、市に10万円を寄付しました。これは、未来ある子どもたちが、安全に過ごすことができる環境作りを支援したいとの思いから、教育と文化の振興奨励のために贈られたものです。

同協会は、伊万里有田地区内の消防用設備などの工事や維持管理を行っているほか、学校の消防用設備の保守点検などを行っていて、寄付は令和3年から毎年続けていて、今回が4回目となります。



↑伊万里有田地区消防設備等保守協会の川井真太郎会長(左から2人目)と徳永祐史副会長(左)

伊万里有田地区消防設備等保守協会が教育奨励振興基金に4年連続4回目の寄付

ご寄付

ありがとうございました

次の方からご寄付をいただきました。

厚くお礼申し上げます。

※11月1日～11月30日受付分

(敬称略、希望者のみ掲載)

《福祉基金》

▼1000万円

株式会社名村造船所

(大阪市)

▼は篤志寄付です。